

令和4年度
土木工事資材等単価表

令和4年 4月(設定)

令和4年 6月(臨時改定)

川崎市建設緑政局

1. はじめに

この「土木工事資材等単価表」(以下、「単価表」という。)は、川崎市建設緑政局が発注する土木工事の積算に用いる資材単価等の一覧表です。

2. 単価表について

本単価表は、次の単価によって構成されています。

(1)「月刊建設物価」、「web建設物価」、「季刊土木コスト情報」((一財)建設物価調査会刊行)及び「月刊積算資料」、「積算資料(別冊もしくは電子版)」、「季刊土木施工単価」((一財)経済調査会刊行)(以下、「物価資料」という。)から設定した単価

(2)市の指定単価

物価資料から設定した単価は、(一財)建設物価調査会及び(一財)経済調査会が著作権を保有しているため、単価は掲載していません(「グレー網掛」表示)。物価資料を参照してください。また、単価が「-」と表示されている資材は、価格調査時点の取引事例が少なく単価の設定が行えなかった資材です。

なお、本単価表に掲載されている資材単価は、個別に指定があるものを除き、現着単価になります。

3. 物価資料から設定した単価について

(1)設定又は改定する月の単価は、その前月号又は前季号の単価を採用しています。

(採用例)

4月設定	→	「物価資料」	①	3月号	②	冬号
7月改定	→	「物価資料」	①	6月号	②	春号
10月改定	→	「物価資料」	①	9月号	②	夏号
1月改定	→	「物価資料」	①	12月号	②	秋号

① 「月刊建設物価(web含む)」及び「月刊積算資料(別冊もしくは電子版含む)」

② 「土木コスト情報」及び「土木施工単価」

※6月の臨時改定では「月刊建設物価(web含む)」及び「月刊積算資料(別冊もしくは電子版含む)」の5月号の単価を採用しています。

なお、臨時単価改定を行っていない単価については、4月設定の単価を適用します。

(2)それぞれの物価資料における適用都市の優先順位は、【川崎 → 横浜 → 神奈川 → 東京 → 関東 → 全国】です。

(3)大口と小口の区分がある場合は、備考等に特段の記載が無い限り、大口を優先しています。

(品名、規格が同じ資材で、②、③、小口のように単価が複数存在する場合は取引数量が多い単価を採用しています。)

(4)両方の物価資料に単価の掲載があるものは、平均値を採用しています。また、一方の物価資料のみ単価の掲載があるものは、その単価を採用しています。

(5)設定単価の端数処理は原則、次のとおり行っています。

1)両方の物価資料の掲載単価を平均した場合における設定単価は、物価資料の有効桁数により端数処理しており、有効桁数未満かつ1円未満は切捨てています。

2)両方の物価資料において掲載単価の有効桁数が異なる場合は、有効桁数が多い方を設定単価の有効桁数として採用しています。ただし、両方の物価資料における掲載単価の有効桁数がいずれも3桁未満であったときは、設定単価の有効桁数を3桁としています。

〔	(例1)A材料における単価の設定	A材料設定単価	$(92+90.5) \div 2 = 91.25 \approx 91$ 円(有効3桁未満かつ1円未満切捨て)	
	建設物価掲載単価			92.0円(有効2桁)
	積算資料掲載単価			90.5円(有効3桁)

〔	(例2)B材料における単価の設定	B材料設定単価	$(9,100+9,000) \div 2 = 9,050$ 円(有効3桁)	
	建設物価掲載単価			9,100円(有効2桁)
	積算資料掲載単価			9,000円(有効1桁)

3)一方の物価資料のみ単価の掲載がある場合における設定単価は、有効桁数による端数処理は行わずに1円未満を切捨てています。

4) 物価資料の掲載単価から単位換算又は補正を行う場合若しくは複数の掲載単価を組み合わせる場合における設定単価は、1)から3)によらず次のとおり行っています。

- ① 物価資料の掲載単価から単位換算又は補正を行った後の単価若しくは複数の掲載単価を組み合わせた単価(以下、「補正後単価」という。)は、小数第2位(小数第3位以下切捨て)まで算出しています。
- ② 両方の物価資料に単価の掲載があるものは、両方の補正後単価(又は一方の補正後単価及び一方の掲載単価)の平均値を採用しています。この場合の設定単価は物価資料の有効桁数により端数処理しており、有効桁数未満かつ1円未満は切捨てています。
- ③ 両方の物価資料の各掲載単価において有効桁数が異なる場合は、物価資料の各掲載単価のうち最も多い有効桁数を設定単価の有効桁数として採用しています。ただし、物価資料の各掲載単価のうち最も多い有効桁数が3桁未満であったときは、設定単価の有効桁数を3桁としています。

(例3) C材料における単価の設定(単価換算を行う場合)			
建設物価掲載単価	1,050円(有効3桁)		
補正後単価	$1,050 \div 3.66 = 286.88$ 円(小数第3位以下切捨て)	C材料設定単価	$(286.88 + 284.15) \div 2 = 285$ 円(有効3桁未満かつ1円未満切捨て)
積算資料掲載単価	1,040円(有効3桁)		
補正後単価	$1,040 \div 3.66 = 284.15$ 円(小数第3位以下切捨て)		

(例4) D賃料における単価の設定(長期割引補正を行う場合)			
建設物価掲載単価	70,500円(有効3桁)		
補正後単価	$70,500 \times 0.65 = 45,825$ 円	D賃料設定単価	$(45,825 + 47,125) \div 2 = 46,400$ 円(有効3桁未満切捨て)
積算資料掲載単価	72,500円(有効3桁)		
補正後単価	$72,500 \times 0.65 = 47,125$ 円		

(例5) E材料における単価の設定(複数の単価を組み合わせる場合)			
建設物価掲載単価	7,800円(本体、付属品を含む単価、有効2桁)		
積算資料掲載単価	6,800円(本体、有効3桁)	E材料設定単価	$(7,800 + 8,150) \div 2 = 7,970$ 円(有効3桁未満切捨て)
	1,350円(付属品、有効3桁)		
積算資料補正後単価	$6,800 + 1,350 = 8,150$ 円		

- ④ 一方の物価資料のみ単価の掲載があるものは、その補正後単価を採用しています。このときの設定単価は、有効桁数による端数処理は行わずに1円未満を切捨てています。

(6) ロットに応じた単価が設定されている場合には、原則としてロットが最大の単価を採用しています。

(7) 以上によらない特殊な方法により単価設定を行っている場合には、別紙「注意事項」に詳細を掲載しています。

4. 取扱い

(1) この土木工事資材等単価表の一部又は全部を、電子媒体又は印刷物により、第三者に販売、貸与、及び譲渡等することを禁じます。

(2) 当単価表は川崎市建設緑政局総務部技術監理課ホームページ(下記アドレス)に掲載しています。

(3) 単価等に訂正又は改定があった場合は川崎市建設緑政局総務部技術監理課ホームページに掲載します。

(4) 物価資料等単価表の掲載ページ等は参考値であり、実際の掲載箇所と異なる場合がありますのでご確認ください。

5. 地区割について

地区名	対象市町村
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区及び麻生区

事務担当 川崎市建設緑政局総務部技術監理課
電話 044-200-2771

7. 本単価表の見方

●単価コード
市建設緑政局で使用している積算システムにおける単価コード

●出典
単価の出典元
・指定:市による指定単価
・掲載:物価資料に掲載のある単価

●地区名
単価採用地区の分類
・市内共通、川崎Aなど

●物価資料掲載欄
・建設物価、積算資料の掲載ページ及び採用都市名

・建設物価のP欄に「分類コード(10桁)」が記載されている場合は、Web建設物価によります。
※「Web建設物価」では「分類コード」による検索が可能となっております。
<http://www.web-kensetu-bukka.jp/shop/>

・積算資料のP欄に「別冊〇〇」と記載されている場合は、「積算資料別冊」又は「積算資料電子版」によります。

●注意喚起欄
・適用にあたっての注意事項がある場合に記載しています。
注1→注意事項1(注は1~3まで)

●単価(円)
・グレー網掛け部は、物価資料による単価のため、物価資料参照。
・(ハイフン)は、単価未設定。

●端数処理有効桁数
・両物価資料掲載単価を平均処理する場合の採用有効桁数です。
・表紙記載の最新改定月の端数処理有効桁数が表示されています。
・有効桁数未滿切捨て後に小数点以下の数値が生じる場合は、更に円止め切捨てをしています。
【例】「3」が記載されていた場合
(1,230+1,260)/2=1,245 →1,240円
(35.5+35.0)/2=35.25 →35円
なお、一方の物価資料のみから設定した単価は「-」と記載しています。この場合、有効桁数による端数処理は行わず、円止め切捨てのみ行っています。

資材名称	単価コード	名称	規格	単位	地区名	出典	単価(円)				建設物価(webおよび土木コスト情報)		積算資料および土木施工単価		端数処理有効桁数	備考	注	
							4月	7月	10月	1月	都市	P	都市	P				
鋼材	Z001102022	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径9	t	市内共通	掲載					横浜	0501022209					注1	
鋼材	Z001102023	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径13	t	市内共通	掲載					横浜	0501022213					注1	
鋼材	Z001102024	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径16~25	t	市内共通	掲載					横浜	0501022216					注1	
鋼材	Z921050022	鉄筋用丸鋼	SR235、φ19mm	t	市内共通	掲載					横浜	0501022216					注1	
鋼材	Z921050023	鉄筋用丸鋼	SR235、φ22mm	t	市内共通	掲載					横浜	0501022216					注1	
鋼材	Z921050024	鉄筋用丸鋼	SR235、φ25mm	t	市内共通	掲載					横浜	0501022216					注1	
鋼材	Z001104006	構造用丸鋼	SS400 径13	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001104001	構造用丸鋼	SS400 径16	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001104007	構造用丸鋼	SS400 径25	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001104002	構造用丸鋼	SS400 径32	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001104003	構造用丸鋼	SS400 径38	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001104008	構造用丸鋼	SS400 径44	t	市内共通	掲載					東京	18	東京	22	3		注1	
鋼材	Z001102008	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A D10	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z001102009	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A D13	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z001102028	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A D16	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z001102019	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D13	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z001102020	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D16~25	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z921050025	異形棒鋼	SD345、D19mm	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
鋼材	Z921050026	異形棒鋼	SD345、D22mm	t	市内共通	掲載					横浜	16	横浜	18	3		注1	
生コンクリート	Z002012001	生コンクリート	18-8-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060100	生コンクリート	18-8-25(20)高炉W/C60%以下	m3	川崎A	掲載					川崎A	0303057004	川崎東部	144	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z002012002	生コンクリート	21-8-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060106	生コンクリート	21-8-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	掲載					川崎A	0303057408	川崎東部	144	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z002012004	生コンクリート	24-8-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060111	生コンクリート	24-8-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	掲載					川崎A	0303057806	川崎東部	144	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060028	生コンクリート	30-8-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060029	生コンクリート	40-8-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060030	生コンクリート	曲げ 4.5-2.5-20高炉	m3	川崎A		12,400	12,400									高炉B	注1
生コンクリート	Z924060031	生コンクリート	曲げ 4.5-6.5-20高炉	m3	川崎A		12,400	12,400									高炉B	注1
生コンクリート	Z924060025	生コンクリート	18-12-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060102	生コンクリート	18-12-25(20)高炉W/C60%以下	m3	川崎A	掲載	10,000	10,000									高炉B	注1
生コンクリート	Z924060015	生コンクリート	18-15-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060104	生コンクリート	18-15-25(20)高炉W/C60%以下	m3	川崎A	掲載	10,000	10,000									高炉B	注1
生コンクリート	Z002012003	生コンクリート	21-12-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060108	生コンクリート	21-12-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	掲載					川崎A	0303057426	川崎東部	144	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060016	生コンクリート	21-15-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060109	生コンクリート	21-15-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	掲載	10,400	10,400									高炉B	注1
生コンクリート	Z002012005	生コンクリート	24-12-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060113	生コンクリート	24-12-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	掲載					川崎A	0303057822	川崎東部	144	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060017	生コンクリート	24-15-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060114	生コンクリート	24-15-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	指定	10,400	10,400									高炉B	注1
生コンクリート	Z924060026	生コンクリート	30-12-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060021	生コンクリート	18-18-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060105	生コンクリート	18-18-25(20)高炉W/C60%以下	m3	川崎A	指定	10,350	10,350									高炉B	注1
生コンクリート	Z924060022	生コンクリート	21-18-25(20)高炉	m3	川崎A	掲載					川崎A	91	川崎東部	95	3	高炉B	注1	
生コンクリート	Z924060110	生コンクリート	21-18-25(20)高炉W/C55%以下	m3	川崎A	指定	10,800	10,800									高炉B	注1
道路排水施設関連資材	Z921020023	自由勾配側溝	L=2000 300×300	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	343	3	参考質量322kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020025	自由勾配側溝	L=2000 300×400	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	別冊66	3	参考質量399kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020027	自由勾配側溝	L=2000 300×500	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	343	3	参考質量450kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020029	自由勾配側溝	L=2000 300×600	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	343	3	参考質量558kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020031	自由勾配側溝	L=2000 300×700	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	343	3	参考質量618kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020033	自由勾配側溝	L=2000 300×800	個	市内共通	掲載					横浜	254	横浜	別冊66	3	参考質量754kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020035	自由勾配側溝	L=2000 300×900	個	市内共通	掲載					横浜	1105093417	横浜	別冊66	3	参考質量830kg/個	注1	
道路排水施設関連資材	Z921020022	自由勾配側溝	L=2000 300×1000	個	市内共通	掲載					横浜	1105093418	横浜	別冊66	3	参考質量995kg/個	注1	

資材名称	単価コード	名称	規格	単位	地区名	出典	単価(円)					建設物価(web)および 土木コスト情報		積算資料・土木施工単価		端数処理 有効桁数	備考	注意
							4月	6月	7月	10月	1月	都市	P	都市	P			
鋼材	Z001102022	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径9	t	市内共通	掲載						横浜	0501022209	東京	25	3		注1
鋼材	Z001102023	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径13	t	市内共通	掲載						横浜	0501022213	東京	25	3		注1
鋼材	Z001102024	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235 径16~25	t	市内共通	掲載						横浜	0501022216	東京	25	3		注1
鋼材	Z001102008	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295 D10	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102009	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295 D13	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102028	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295 D16	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102019	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D13	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102020	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D16~25	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102021	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D29~32	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102025	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102026	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z921050021	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102029	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D25	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102030	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D29	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102031	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D32	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102032	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102033	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102034	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD390 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102035	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD490 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102036	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD490 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001102037	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD490 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105001	ねじ節鉄筋	SD345 D13	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105002	ねじ節鉄筋	SD345 D16	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105003	ねじ節鉄筋	SD345 D19	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105004	ねじ節鉄筋	SD345 D22	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105005	ねじ節鉄筋	SD345 D25	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105006	ねじ節鉄筋	SD345 D29	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105007	ねじ節鉄筋	SD345 D32	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105008	ねじ節鉄筋	SD345 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105009	ねじ節鉄筋	SD345 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105010	ねじ節鉄筋	SD345 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105011	ねじ節鉄筋	SD345 D51	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105012	ねじ節鉄筋	SD390 D25	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105013	ねじ節鉄筋	SD390 D29	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105014	ねじ節鉄筋	SD390 D32	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105015	ねじ節鉄筋	SD390 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105016	ねじ節鉄筋	SD390 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105017	ねじ節鉄筋	SD390 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105018	ねじ節鉄筋	SD490 D35	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105019	ねじ節鉄筋	SD490 D38	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1
鋼材	Z001105020	ねじ節鉄筋	SD490 D41	t	市内共通	掲載						横浜	16	横浜	20	3		注1

注意事項1			
資材費	鋼材	品名、規格が同じ資材で、②、③、小口のように単価が複数存在する場合は取引数量が多い単価を採用している。	
		橋梁用鋼材は[2]道路橋工事単価及び道路橋積算基準による。	
		I形鋼、H形鋼で標準長さを超える物を使う場合は、物価資料参照のこと。	
		鉄筋コンクリート用棒鋼（異形棒鋼）	標準長 3.5m～12m
		ねじ筋鉄筋	標準長 3.5m～12m（D13、D16は除く）
		等辺山形鋼	標準長 7～12m 「桁用として使用する場合は、本表による」
		不等辺山形鋼	標準長 6～12m 「桁用として使用する場合は、本表による」
		溝形鋼	標準長 6～12m 「桁用として使用する場合は、本表による」
		I形鋼	標準長 6～12m 「桁用として使用する場合は、本表による」
		H形鋼	標準長 6～18mで6～12m中心 「H型鋼を桁用、杭用および支保工用として使用する場合は本表による」
		鋼板	無規格品単価であり、規格品単価は橋梁用鋼材の項を参照のこと。
		鋼矢板	鋼矢板 標準長 6～20m(500mmピッチ) 軽量鋼矢板 標準長2～12m(500mmピッチ)
			エキストラ単価を使用する場合は、物価資料を参照。 ただし、SY295 直線形(FL)、SY295 直線形(FXL)、SYW295直線形(FL)、SYW295 直線形(FXL)の単価は、鋼矢板(直線形)価格に形状エキストラ価格を加算した額を掲載している。
	鋼管杭	長 6～12m 外径×肉厚 318.5～500mm×6.4～12.7mm 長 6～12m 外径×肉厚 500～700mm×6.4～14.0mm 長 6～12m 外径×肉厚 700～914.4mm×6.4～16.0mm エキストラ単価を使用する場合は、物価資料を参照。	
	セメント	セメント(普通ポルトランド)(25kg入り)	物価資料の価格を、t当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。 単価は両物価資料の40～80袋程度から設定しています
		セメント(早強ポルトランド)(25kg入り)	物価資料の価格を、t当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。 単価は両物価資料の40～80袋程度から設定しています
		セメント(普通ポルトランド)(25kg入り(大口))	物価資料の価格を、t当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
		セメント(早強ポルトランド)(25kg入り(大口))	物価資料の価格を、t当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
		セメント(高炉B)(25kg入り(大口))	物価資料の価格を、t当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
	生コンクリート	本表は、25mm砂利か20mm碎石のいずれかを使用する場合の単価である。	
		生コンクリート(早強セメント)	7日強度であり、使用にあたっては十分に注意すること。
		小型車割増	小型車割増額は4t車以下としていたが、平成23年7月1日より4t車を対象とする。3t車以下は別途。
		小口割増(Go)	小口割増(小型車割増)を加算する場合に計上する。
高炉について		高炉コンクリート(W/C指定有)について、物価資料掲載となっている単価については、物価資料により普通コンクリートと同額として設定している。	
石材	夜間割増	別途計上する。	
	コンクリート用骨材 砂 荒目	単価は建設物価の50～200m3、積算資料の10m3程度から設定しています。	
	コンクリート用骨材 砂 細目	単価は建設物価の50～200m3、積算資料の10m3程度から設定しています。	
	路盤材	現場着までの品質管理を含む。また、舗設に必要な品質管理は共通仮設費の技術管理費に含む。	
	クッション用砂	サンドマット及び敷砂用である。	
	再生砂	再生砂(RC-10)を使用する場合は、六価クロムについて平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定されている測定方法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認したうえで使用すること。	
	砂	山砂、砕砂、砕石ダスト、砂質土等である。	
再生クラッシャーラン	プラント再生舗装技術指針の品質規定を満足するものとし、修正CBR30%以上のものとする。		
木材			
土のう	土のうは、ポリエチレン製の単価を使用している。		
塗料			
区画線	トラフィックペイント 接着用プライマー	高視認性区画線には使用できない 区画線・高視認性区画線に使用できる	
資材費	アスファルト合材	アスファルト加熱合材は、現場着までの品質管理を含む。	
		舗設に必要な品質管理は、技術管理費の中に含む。	
		再生加熱アスファルト合材	規格、基準はプラント再生舗装技術指針による。
		小口割増(As)(4t車)	200t未満でかつ4t車運搬を標準とする場合に計上する。
		小口割増(As)	200t未満の場合計上する。
		ポーラスアスファルト合材高粘度改質As II型、(PB)遮水型排水性舗装用	H23.10より、ポーラスアスファルト混合物に名称変更し、高耐久高粘度改質As H型に規格変更しました。
		密粒AS混合物*リマ改質ASII型(20)	目標DS3000の場合も使用できる。
瀝青材、目地材			
道路標識類			

道路用材	横断防止柵(川崎市型) (鳥と魚、川)	Aタイプ: 特別色・茶色(ハンマートンブロンズ) Bタイプ: 28-255・茶色(ダークブラウン) 使用区分等については、建設緑政局道路施設課と協議すること。 E: 土中建込用: 2.3×600×3,000(パネル) 3.2×60.5×1,800(支柱) C: プレキャストコンクリートブロック建込用: 2.3×600×3,000(パネル) 3.2×60.5×1,200(支柱) W: コンクリート建込用: 2.3×600×3,000(パネル) 3.2×60.5×1,000(支柱) 一連で21m以上の場合に適用可とする。一連で21m未満の場合は、パネル、支柱、ボルトナットを組合せて積算する。
	横断防止柵(川崎市型) (C) 4本ビームタイプ	Aタイプ: 特別色・茶色(ハンマートンブロンズ) Bタイプ: 28-255・茶色(ダークブラウン) 使用区分等については、建設緑政局道路施設課と協議すること。 プレキャストコンクリートブロック建込用 2.3×600×3,000(パネル)、3.2×60.5×1,200(支柱) 公共空間景観形成ガイドライン対応 一連で21m以上の場合に適用可とする。一連で21m未満の場合は、パネル、支柱、ボルトナットを組合せて積算する。 支柱、ボルトナットは、横断防止柵(鳥と魚、川)と同一部材。
	横断防止柵(川崎市型) (C) 植栽兼用メッシュタイプ	プレキャストコンクリートブロック建込用 600×2,000(パネル)、3.2×60.5×1,230(支柱) 登ハンマート、胴縁、胴縁バンド、上部手摺、ボルト等含む 公共空間景観形成ガイドライン対応
	車止めポール	Bタイプの反射テープ白色、ステンレスタイプは公共空間景観形成ガイドライン対応タイプ
防護柵(ガードレール)	ガードレール資材 指定色割増額	土工事資材等単価または物価資料掲載のガードレール(白色)に加算して積算する。 公共空間景観形成ガイドライン対応
防護柵(転落防止柵)	転落防止柵 縦桟 指定色割増額	公共空間景観形成ガイドライン対応(土工事資材等単価表掲載の転落防止柵 縦桟(白色)に加算して積算する。) 一連で21m以上の場合に適用する。一連で21m未満の場合は、パネル、支柱を組合せて積算する。
	転落防止柵用パネル	ボルト、ナット、ワッシャー等含む
	転落防止柵用パネル 指定色割増額	公共空間景観形成ガイドライン対応(土工事資材等単価表掲載の転落防止柵用パネル(白色)に加算して積算する。)
	転落防止柵用支柱 指定色割増額	公共空間景観形成ガイドライン対応(土工事資材等単価表掲載の転落防止柵用支柱(白色)に加算して積算する。)
	転落防止柵(C) H1100(メッシュタイプ)	公共空間景観形成ガイドライン対応(金網: めっき+塗装、網目: 100×100、線径: 5.5×5.5)
	転落防止柵(C) 勾配割増額	H1100は土工事資材等単価表掲載の転落防止柵用(C)H1100(メッシュタイプ)に加算して積算する。 H1000およびH1200は同規格(高さ)の転落防止柵に加算して積算する。
防護柵(Gr+転落防止)	ガードレールと転落防護柵(縦桟タイプまたはメッシュタイプ)が一体となったコンクリート建込防護柵	
	Gr+転落防止柵	一連で21m以上の場合に適用する。一連で21m未満の場合は、土工事資材等単価表掲載の「Gr+転落防止柵用パネル」「Gr+転落防止柵用支柱」土工事資材等単価表または物価資料掲載の「直ビーム(ガードレール用)」「ボルトナット(ガードレール用)」等を組合せて積算する。
	Gr+転落防止柵 指定色割増額	公共空間景観形成ガイドライン対応(土工事資材等単価表掲載の「Gr+転落防止柵」に加算して積算する。)
	Gr+転落防止柵 勾配割増額	土工事資材等単価表掲載の「Gr+転落防止柵」に加算して積算する。
	Gr+転落防止柵用パネル	ガードレール部分を除く上下パネル、ボルト、ナット、ワッシャー等含む
道路用コンクリート製品	備考欄記載の質量は物価資料による。	
	歩車道境界ブロック	単価は標準用、摺付用、切下用の区別はなく同一である。 穴あきブロックも同一単価である。 反射機能を有するブロックは除く。
グレーチング	グレーチング: 溝ふた(受枠付)	本体のみは別途協議すること。すべて横部材ピッチ50mmとする。
硬質塩化ビニル管	品名、規格が同じ資材で、②、③、小口のように単価が複数存在する場合は取引	数量が多い単価を採用している。
コンクリートブロック	コンクリート積ブロック	150kg/個未満かつ350kg/m ² 以上に該当する資材の価格を、m ² 当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
	化粧(粗面)積ブロック	備考欄に該当する資材の価格を、m ² 当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
	平ブロック	備考欄に該当する資材の価格を、m ² 当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
	連節ブロック	備考欄に該当する資材の価格を、m ² 当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
植生・造園資材	杉支柱丸太(防腐加工)	CUA22は、加圧注入用の銅・アゾール化合物系水溶性木材保存剤
コンクリート型枠用合板		
公園用資材	分電盤(粉体樹脂塗装ホール取付)	金属被覆処理後合成樹脂系防食塗装
公園施設工	水飲み場設置	本体: 稲田凝石研ぎ仕上げ、手摺: SUS・φ38×t1.5、水: 水飲み(レバー式)・上部手洗い(レバー式)・下部管理用(回転式)
電気設備用材	電線管(各種)	管種別の使用場所は注意事項2参照
	分電盤(焼付塗装)(亜鉛メッキ)	屋外防水形。調光分電盤には光電制御装置・自動点滅器を含む。
	使用例等	注意事項2
	LED道路照明灯	タイプ別規格は、国土交通省「平成27年3月 LED 道路・トンネル照明導入ガイドライン(案)」 (http://www.mlit.go.jp/common/001087356.pdf) による。(H29.7から全間接費対象となりました)
燃料、ガス	ガソリン、軽油、重油	物価資料の価格における端数整理は、積算参考資料に準じる。
	軽油(1.2号(船舶用))	掲載価格より軽油引取税を控除後、平均値を算出する。設定単価の端数処理は1円未満切り上げとする。
	灯油	物価資料の価格を、L当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
	プロパン	積算資料に記載されている産気率を用いて換算する。端数処理の方法は、本誌の「3. 物価資料から設定した単価について」による。
建設副産物等処理料	建設副産物等処理料	東願島中継ヤードの受入れについては、「川崎市中継ヤード建設発生土に係る検定試験実施要領」による。 受入費・処分費及び処理料は直接工事費に計上する。運搬費は含んでいない。 建設汚泥にはベントナイト廃液も含まれる。設定価格は、環境基本法の土壌環境基準(環境基本法第16条第1項)に適したものであり、リサイクルを基本とする。 しゅんせつ土は水路等のしゅんせつ土で、悪臭等により普通土扱いの処分が可能な場合のみに適用する。但し、主管課が設定したものと及び下水汚泥は除く。 設定価格は、環境基本法の土壌環境基準(環境基本法第16条第1項)に適したものである。

		土砂検定費の規格選定は主管課と協議のこと。	
		土砂検定費は浮島指定処分地へ搬入するしゅんせつ土に対する試験には適用外のこと。	
		土砂検定費及びダイオキシン類試験、六価クロム溶出試験は、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含む。	
機械損料等	建設機械消耗部品損耗費	コンクリートカッター（ブレード）	H27.7追加しました。自走式切断用の単価を採用している。
	仮設材賃料	山留主部材の副部材について	副部材(A)に係る賃料計上限度額(1現場当り修理費及び損耗費を含む。)は、基礎価格の90%とする。 副部材に係る賃料(1現場当り修理費及び損耗費を含む。)の補正は、建設用仮設材損料算定基準(平成7年3月29日付け建設省経機発第40号)及び建設用仮設材賃料積算基準(平成7年3月29日付け建設省経機発第43号)に準じる。
		1現場当り修理費及び損耗費	修理費及び損耗費は、整備費、特別ケレン、穴埋め、曲がり直し等の修理費、切断による短尺補償、打込みによる破損を含む。 修理費及び損耗費は、土質、打込み又は引抜きの難易等の作業条件を十分考慮して適用作業区分を決定する。
		H形鋼(副部材A)、(副部材B)、(杭用)、(山留主部材)、鋼矢板(本矢板)2型、鋼矢板(軽量矢板)軽量(2、3型)、覆工板、鋼製マットの修理費及び損耗費	H25.4より、名称・規格を修正しました。 単位が"t"及び"m2"と記載されている単価は、1現場当りの修理費及び損耗費となります。
		鋼矢板(本矢板)3型、4型、5L型、鋼矢板(軽量矢板)軽量1型の修理費及び損耗費	H25.4より、新規追加しました。 単位が"t"と記載されている単価は、1現場当りの修理費及び損耗費となります。
		鋼矢板、H形鋼、山留主部材	単位が"t"と記載されている単価は、1日当りの賃料を掲載しています。
		覆工板	単位が"m2"と記載されている単価は、1月当りの賃料を掲載しています。
		鋼製マット、軽量覆工板	単位が"m2"と記載されている単価は、1日当りの賃料を掲載しています。
		鋼製マット	鋼製マットの価格は、m2当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
		不足弁償金(鋼製マット1.2型、1.5型、3.5型)新品、中古	鋼製マットの価格は、m2当り単価に換算している(端数整理は積算参考資料に準じる)。
建設機械賃料		注意事項3	
市場単価	鉄筋工	鉄筋工の積算について	「切梁のある構造物」、「地下構造物」、「橋梁用床版」、「RC場所打ホロースラブ橋」、「差筋及び杭頭処理」の5種類については、「土木施工単価」及び「土木コスト情報」に掲載の「一般構造物」の単価に次の補正係数を乗じた単価の平均値としております。また、その端数処理については、有効数字3桁とし、有効桁数未満は切り捨てています。 切梁のある構造物・・・1.00、地下構造物・・・1.10、橋梁用床版・・・0.85、RC場所打ホロースラブ橋・・・1.15、差筋及び杭頭処理・・・0.95 上記以外の加算や補正を用いた設計単価の計算方法については、上記の単価(システム登録単価・有効数字3桁切捨)をもとに、土木工事標準積算基準書の加算率や補正係数1の補正計算を行っております。
	防護柵設置工(ガードレール)	土中建込み	掲載単価は、巻袖レールを含む延長当りの単価であり、施工延長は巻袖レールを含む延長とする。
		コンクリート建込み ガードレール設置工	掲載単価は、巻袖レールを含む延長当りの単価であり、施工延長は巻袖レールを含む延長とする。 加算額：標準支柱より長い場合、12cm増す毎に加算する。
	防護柵設置工(ガードパイプ)	ガードパイプ設置工	加算額：標準支柱より長い場合、12cm増す毎に加算する。
	道路標識設置工	基礎設置(コンクリート基礎)	アンカーボルトの材料費は別途計上
	鋼橋用資材費	普通ボルト	ナット(各1)ワッシャー(2枚)含む。
橋名板		取付ボルト、アカー等付属品を含む	
橋歴板		取付ボルト、アカー等付属品を含む	
材工共単価	材工共単価	材工共単価について、特段の記載がない限り、基礎は含まないものとする。なお、施工に伴うモルタルを含む。	
その他	委託業務単価	ベース価格	形鋼、H形鋼で無規格品、SS400規格品を使う場合は、一般鋼材単価の項とする。 その他の規格品を使う場合は上表をベース価格とし、対応する規格エキストラを加算する。 一般構造用棒鋼単価は、一般鋼材単価の項とする。 各規格エキストラはH21年5月臨時改定から削除致しました。新しくエキストラ単価を使用する場合は、物価資料を参照して下さい。
		硬質塩化ビニル管	品名、規格が同じ資材で、②、③、小口のように単価が複数存在する場合は取引数量が多い単価を採用している。 物価資料は4mの価格であるため、m当り単価に割り返し0.66を乗じている(円未満切捨て)。 規格がVU150の単価を使用している。
		地盤情報データベース検定費(資格有)	ボーリング責任者：地質調査技士 かつ 管理技術者又は主任技術者：地質調査技士、技術士、RCCM等の資格を有しているものとする。
		地盤情報データベース検定費(資格無)	上記以外の場合
		鉄筋	普通鉄線(#4)の価格を4.5(m)で除している(円未満切捨て)。
		セメント	40～80袋の価格をkg当り単価に換算している(円未満は切捨て)。
		ガンリン、軽油、重油	物価資料の価格における端数整理は、積算参考資料に準じる。
		軽油(1.2号(船舶用))	掲載価格より軽油引取税を控除後、平均値を算出する。設定単価の端数処理は1円未満切り上げとする。
		各単価の適用について	各単価については積算参考資料(土木工事編)等に掲載された単価表を基に、昼間の標準時間帯の作業費用とする。
		立入防止柵撤去工(Z929051122からZ929051146まで)	この単価は、土木工事標準積算基準書第IV編第②章①-3の設置に対応する撤去の単価です。